

Deloitte Tohmatsu Group Professionalism

100年先も社会から必要とされる企業には、誠実さを礎とした文化が根付いています。デロイト トーマツ グループが大切にしたい想い、それが「Professionalism」です。「Professionalism」とは、信頼と絆で結ばれた仲間と共に仕事を極めていく姿勢、そのプロセスそのものなのです。



Professionalism

プロフェッショナルの矜持を持ち、偽りのない本物の成長を続ける

プロフェッショナルとして働く喜び・やりがい、すべての原点。

私たちは、激変する社会・経済に立ち向かうクライアントに対し、その経営課題に真摯に向き合い、期待された責任を果たすという重要な役割を担っています。クライアントと共に苦難を乗り越え成果を掴み取ることで、深い信頼と達成感を得ます。これこそが私たちがプロフェッショナルとして働く喜びであり、やりがいです。

ありたき自分を定め、自らを律し、期待役割を超える。

プロフェッショナルのこの喜びとやりがいを得るためには、私たち一人ひとりが厳しく自己を律し、自らの成長に向けて絶えず努力を重ねていかなければなりません。

- 理想とするプロフェッショナル像を定め、絶えず「ありたき自分」を実践し続けているか。
- 一つ一つの業務遂行に、ベストを尽くしているか。クライアントや仲間からの期待に応えられているかを、常に自らに問い続けているか。
- 常に凛とした存在感を発揮し、信頼を勝ち得ているか。
- 己の承認欲求や打算的思考を排除し、何事にも・誰に対しても誠実に事に当たっているか。
- 自らのコンフォートゾーン（やれること・やりたいこと）から抜け出し、選り好みせず新たな挑戦を続け、自分自身の限界を広げ続けているか。

主体性なくして、成長実感なし。自らが動かす。

弛まない自己研鑽が、私たちの存在意義に直結しています。漫然と与えられるがまま、流れの中に身をゆだねるように業務に取り組んでいては、成長しません。プロフェッショナルの名に恥じない新たな事柄への主体的な挑戦、努力と研鑽、そこから得られる自己成長無くして、昨日の自分を超越する成長実感は生まれません。

クライアント・ステークホルダーからの「信頼」と、共に挑み絆で結ばれた「仲間」が、私たちの財産。

困難から逃げずに乗り越え、そこから得られるかけがえのない深い信頼こそが、プロフェッショナルとしての私たちの最大の財産です。そして現場で共に困難に取り組むことで、原体験と絆で結ばれた大事な仲間が生まれます。互いを尊敬し合う強固な仲間こそ、この仕事を選び続ける強い動機であり、私たちがここに集う理由です。

Leaders' Talk ～Leaders' "My Professionalism" Talk～

デロイト トーマツ グループのリーダーたちに彼らの「Professionalism」について聞く「Leaders' "My Professionalism" Talk」



デロイト トーマツ グループ
Chief Talent Officer
神山 友佑



有限責任監査法人トーマツ
代表執行役
大久保 孝一



デロイト トーマツ グループ
税務・法務領域ビジネスリーダー
溝口 史子



デロイト トーマツ グループ
FAOUリーダー・特命担当 (CEVO)
福島 和宏



[Purpose & Values](#)



[Our Heritage](#)



[沿革](#)